

9、祝 辭

九州同盟會長 稻 富 稔 人

福岡市聯合會長 西 川 甚 太 郎

福岡支部 光 安 義 雄

大ノ刺支部 松 尾 隆

滿洲國阿城縣參事 田 中 鈞 一

滿洲國建國以來既に三年、異常なる發展の一途を辿つてゐる日本は何故滿洲に青年兵士の血を流し巨大なる富を費し刺へ聯盟を脱退し世界の利手も辭せずとの危険を冒して滿洲國の爲に盡すのであるか、それは弱い虚けられた滿洲國を救ふ氣持と日滿提携せば歐米怒るるに足らずとの信念からである。滿洲國は日本人官吏を使つてゐるか之は即ち滿洲國を通じ日本の政治、日本の實力を世界に示す爲だ、私か就任した時誓

が阿城縣二十五萬人中には日本人は只一人であつたが張學良の青天白日旗を滿洲國旗に取替へさせ全く命賭けの警備をやつたこれは日本帝國の俊眉かあつた爲だ、吾々は常に死を賭して最も勇敢に戦つてゐる然るに日系官吏中にも恩給取りで滿洲國の高位高官となり農民より多數の金を搾取する輩がある。日本は現在二百億の公債があり歐米は日本が經濟力に耐へ得るや否やを覗いてゐる實に危急は迫つてゐる、此時に當り只祖國變の一念を以て滿洲國三千萬の魂を把握し日本精神に信頼せしめ民族愛の融和を計るならば非常時熟るるに足らずと思ふ、愛國心より起る農民運動は立派な維新建設運動であり農民が困る事は日本が困ることであり延いては滿洲國も困るのである日本精神に立脚し正義の運動を斷行し一日も早く幸福なる農村樹立の實現に邁進せよ